

2013 4月号



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (06)5842-6031

FAX (06)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

署名17万8524人に到達!



☆3月6日(水) JR天王寺駅前での署名宣伝行動

昨年十月に発足した「大阪100万署名推進委員会」の活動がピッチがあがっています。ポスターと署名用紙が作成され、各団体への発送が続いています。NPTジュネーブ会議代表団派遣まで30万の署名を集めようと、今取り組みられています。

「大阪100万署名推進委員会」 取り組みピッチあがる

■論議が続いたポスター

「大阪100万署名推進委員会」の具体的な活動計画をすすめているのが「事務局会議」です。四月十一日で第六回目を迎えようとしています。このポスターの原案を三回論議して常任理事会に提案し、承認されました。

論議されたのは「色が大阪的でない」「国連と大阪がピタタンコシてない」など、議論百出。できあがったポスターは好評で、北区原水協からは「評判がいいのか、このポスターよくとられます」と連絡があり、新たに二十枚持つていかれました。

最初に印刷したのは千五百枚。各団体からの申し込みがあり、二千五百枚追加注文しており、日本

NPT第2回準備委員会

ジュネーブに行ってきます

大阪民医連・かわち野医療生協
水口 亜也子さん(決意一部紹介)

今回初めて参加させていただきます。原発集会や世界大会への思い、沢山の事を考えると、この怒りをどこに向けていいのか、腹がたちます。確かな情報を読み取り、物事が正しい方向へと向かうようにするのが大人たちの役目です。私が行動することにより、将来の日本や全人類の助けとなり前進することであれば、積極的な参加をしていきたいです。たくさんのごことを吸収したいと、思っています。

原水協代表理事・高草木博さん、日本被団協・田中照巳さん、国連軍縮上級代表・アンゲラケインさんの笑顔が好評です。

■署名用紙も印刷フル回転

2015年NPT核不拡散再検討会議までに大阪から100万の署名をニューヨーク国連本部に持つていくのが目標です。この目標に見合った署名用紙が各団体で準備されようとしています。新婦人三万枚、大阪自治労連二万枚、大阪民医連四万枚、日本共産党二万枚、大教組八千枚、大阪国公三千枚など発送済みです。現在の(四月三日集約)署名数は約十八万。ジュネーブ代表団出発日まで、なんとでも二十万にして、提出できるように奮闘しましょう。

ノルウェー・オスロ国際会議 核兵器の非人道性浮きぼり

三月四日から開かれたノルウェー政府主催の「核兵器の人的影響」国際会議に参加したIPPNW(核戦争防止国際医師会議・阪南医療生協診療所長)の真鍋 穰(まなべ ゆたか)さんからこの会議の報告を受けました。非核大阪の会常任世話人会議での報告会に大阪原水協からも参加させていただきました。

ことでした。

日本政府から参加された四人の内の一人となられた日本被団協事務局長・田中照巳さんが発言されました。日本政府代表に被爆者をいれて発言させたことに、世界の情勢の変化に軍縮課長も発言を保障せざるをえなか

のではなにか、と真鍋先生。田中さんの話に「核爆発の下で生き延びた人がいるのか」と会場がどよめいたそうです。休憩時間にはたくさんの人から握手をもとめられ、田中さんの労をねぎらってくれたそうです。

参加国は、127カ国で核保有国五カ国は参加せずインドだけが参加していたそうです。どの専門家も広島、長崎を取り上げ、その非人道性を指摘していたとのこと。

まず赤十字国際委員会へ「ター・マウラー総裁は、1945年8月30日、広島に派遣され救護活動を続けたマルセル・ジュノー博士が送った衝撃的な電報を紹介しました。「広島は、筆舌に尽くしがたい。街は消え去ってしまった」と悲惨な内容を読み上げ、最後に「防止とは、法的拘束力のある条約をつくることを含め、禁止し廃絶するしかない」と強調し、この会議の基調となったという

次回会議をメキシコで開こうと決定され、「非人道性」追及の国際会議が続きます。

映画「X年後」上映好評

伊藤監督、大阪原水協定期総会で講演

NPT第2回準備委員会

ジュネーブに行ってきます

大阪原水協事務局長

小松 正明さん(決意一部紹介)

「壮行会やったる」の声に、いつもきまって、「壮行会でなくて選別がわりに、署名用紙ちょうだい」と言い続けています。2015年までに大阪から100万署名積み上げて「核兵器禁止条約を結ばせる」が大きな夢です。大好きなフランス語英語を使って、日本や大阪の取り組みを世界の人に訴えたいと、はりきっています。帰ってからの報告会を楽しみにしてください!

映画「X年後」の上映運動が盛況です。大阪母親連絡会は三月二三日に上映。四百五十名以上の参加者で、伊藤英明監督の挨拶もあり、三回の上映とも満員でした。伊藤監督は、「第二幸成丸のように、放射能が原因で多くの漁民がガンでなくなられており、今の歴史の真実で、再度福島を考える契機にしてほしい」と語られました。四月六日にも西淀川区で、低気圧の暴風雨の中、上映会が行われました。雨風が強くなる中ででしたが、三百十五人が参加。「南海放送に、この続きを作ってほしいです」「いつの時代にも弱いものには、シワ寄せが来る。福島の政府発表も信じられない」などの感想が寄せられました。事前のチケット普及は五百七十六枚もありました。

梅田章二弁護士す、すごいです!

— アピール署名1203人チェニアで集めました —

梅田弁護士から、すごい「チェニアからのおみやげ」が届きました。3月24日から始まった「世界社会フォーラム」に参加されて、「アピール署名」1203人分を集めてくださいました。原爆パネル「原爆と人間」をチェニアまで

で運び、原爆展を開催して集められました。原爆展を開催すると、世界からの人々が真剣に見てくれ、並んで署名をしてくださったそうです。署名どころメールアドレスも書いてくださいました。